

香椎線・鹿児島本線にて2つの「自動運転」開始

日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本英彦）は、ATS-DK^{※1}をベースにした自動列車運転装置（FS-ATO）^{※2}を開発し、九州旅客鉄道株式会社様（以下、JR九州様）の営業路線で2020年12月より実証運転を実施しております。

このたび、JR九州様設置の第三者委員会による評価、実証運転経過を踏まえ、3月16日より香椎線にてGOA^{※3}2.5、鹿児島本線にてGOA2.0の自動運転を開始いたします。

2つの自動運転を実現することで、操縦業務の自動化や機械化を図り、安全性の向上や養成コスト削減、労働人口減少等の社会課題に対応してまいります。

<香椎線自動運転概要>

自動運転レベル	GOA2.5（自動運転乗務員乗務）
対象区間	香椎線（全線） 西戸崎駅～宇美駅間
使用車両	819系（DENCHA）

<鹿児島本線自動列車運転支援装置 実証運転概要>

自動運転レベル	GOA2.0（運転士乗務）
対象区間	鹿児島本線 折尾駅～二日市駅（装置対応区間は門司港駅～荒尾駅）
使用車両	819系（DENCHA）



※1 ATS-DK : JR九州様の信号保安システム。連続的な速度照査により列車制御を行うシステム。

※2 FS-ATO : 保安装置と同等の信頼性とフェールセーフ性を有する高機能な自動列車運転装置。

※3 GOA : Grade of Automation の略。

問い合わせ先

日本信号株式会社

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階

総務部 Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail info@signal.co.jp